



環境アセスメント学会

第 15 回研究発表大会

行動する知性。



中央大学後楽園キャンパス 2016.9.9(金)~9.10(土)

第 15 回環境アセスメント学会研究発表大会へのご参加をお待ちしております。

学会長 田中 充 (法政大学)

大会実行委員長 鹿島 茂 (中央大学)

会 期 : 平成 28 年 9 月 9 日 (金) ~ 10 日 (土)

会 場 : 中央大学後楽園キャンパス 5 号館・6 号館

プログラム構成

月 日	時 間	内 容
9 月 9 日 (金)	9:30~11:30	一般研究発表 (6 号館 6301・6302 教室)
	11:30~12:00	ポスター発表 (5 号館 3F ロビー)
	13:00~18:10	開会式 (5 号館 5334 教室) 企画委員会主催シンポジウム 「環境影響評価に関する技術手法の最新動向(Ⅱ)」 特別講演: 小林正明環境事務次官 奨励賞受賞記念講演 優秀ポスター表彰
	18:30~20:30	懇親会 (6 号館 6701 号室)
9 月 10 日 (土)	9:30~11:20	一般研究発表 (6 号館 6301・6302 教室)
	11:30~12:30	理事会 (6 号館 6309 教室)
	13:00~15:00	特別集会 (5 号館 5334 教室) 「環境関連データのオープンデータソースの動向と課題」

* 詳しくは、別途公表するプログラムでご確認ください。

大会の事前参加申し込みは 9 月 5 日までとなっております。

http://www.jsia.net/2_convention/convention/16convention_announcement_2.pdf をご覧ください。

【大会関連問い合わせ】

2016 年度環境アセスメント学会 第 15 回大会実行委員会事務局

中央大学後楽園キャンパス 担当: 鹿島 茂、小林 貴

〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27 中央大学理工学部都市環境学科

電話: 03-3817-1817 E-mail: jsia2016chuo@gmail.com

宿泊

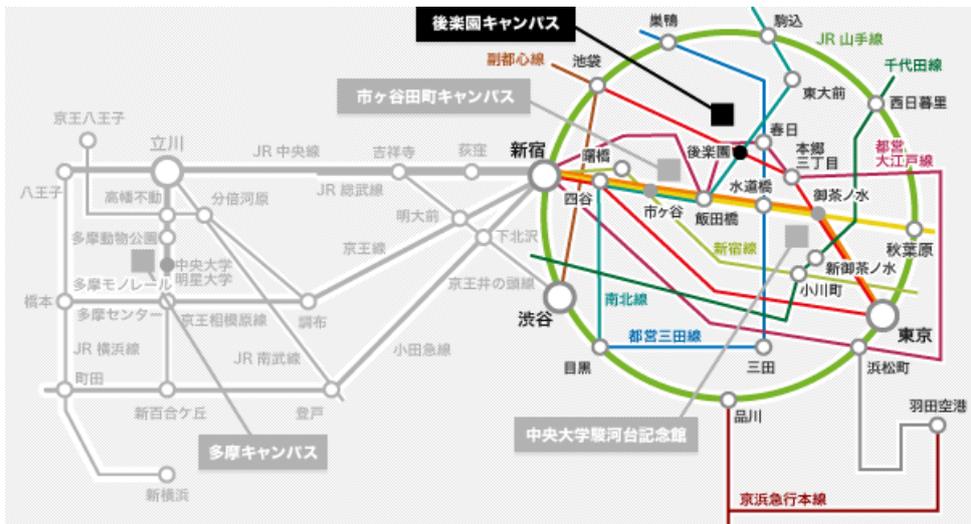
後楽園駅・春日駅・水道橋駅周辺には多数のビジネスホテル（東横 INN、ホテルウィングインターナショナル、ホテルリブマックス、東京グリーンホテル等）があります。

会場周辺

大学周辺には食堂が多数有ります（学内の食堂も営業しております）。

大学周辺には、東京ドームや国の特別史跡・特別名勝に指定されている小石川後楽園、徳川家の菩提寺である伝通院があります。

中央大学後楽園キャンパスへの交通



東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園駅」から徒歩5分

都営三田線・大江戸線「春日駅」から徒歩7分

JR 総武線「水道橋駅」から徒歩15分

アクセス情報 <http://www.tsukyo.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen.html>

企画委員会主催 公開シンポジウム 「環境影響評価に関する技術手法の最新動向（Ⅱ）」

■企画趣旨

環境影響評価においては、事業の種類と規模等、地域の状況に応じて適切な技術手法を選定することが必要です。そのためには、各々の技術手法に対して開発された背景、適用範囲、特性等を熟知しておくことが重要です。

環境省では、2013年12月に発行された「計画段階環境配慮書の考え方と実務—環境アセスメント技術ガイド」に続く、事業実施段階の環境影響評価の考え方や技術手法をとりまとめた「環境アセスメント技術ガイド」の改訂版を近日公表する予定です。本シンポジウムでは、2015年5月に開催した公開セミナー「環境影響評価に関する技術手法の最新動向（Ⅰ）」に引き続き、技術手法の最新動向をテーマとして「環境アセスメント技術ガイド」の改訂のポイントについて紹介して頂き、本技術ガイドの賢い利用のあり方等について、パネルディスカッションにおいて会場を交えて議論します。

■日 時

2016年9月9日（金）13:10～16:40

■場 所

中央大学後楽園キャンパス 5号館 5334 教室

■進 行

- ・司会進行： 宮下一明（本学会常務理事・株式会社東京久栄）
- 1) 趣旨説明【13:10～13:15】 宮下一明
- 2) 話題提供【13:15～15:35】
 - (1) 環境アセスメント技術ガイドについて 【13:15～13:35】
會田義明（環境省総合環境政策局環境影響評価課）
 - (2) 「技術ガイド 大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷」の改訂について 【13:35～14:05】
真田純子（(一社)日本環境アセスメント協会・パシフィックコンサルタンツ株式会社）
 - (3) 大気質に係る環境アセスメントについて 【14:05～14:35】
片谷教孝（本学会副会長・桜美林大学）
 - (4) 「技術ガイド 生物の多様性・自然との触れ合い」の改訂について 【14:35～15:05】
西浩司（(一社)日本環境アセスメント協会・いであ株式会社）
 - (5) 生態系における定量的評価手法について 【15:05～15:35】
三橋弘宗（兵庫県立大学）
- ～休憩 10分【15:35～15:45】～
- 3) パネルディスカッション【15:45～16:40】
テーマ「技術ガイドの賢い利用を目指して」
コーディネーター 田中充（本学会会長・法政大学）
パネリスト 會田義明・真田純子・片谷教孝・西浩司・三橋弘宗

環境アセスメント学会 2016 年大会・特別集会

「環境関連データのオープンデータソースの動向と課題」

■企画趣旨

環境アセスメントでは、事業計画地及びその周辺で環境影響評価とモニタリングの動植物調査を行い、既存資料のデータを参考にしつつ事業計画地の生物生育・生息地としての重要性を評価する必要があります。適切な評価を行う上で、既存データへのアクセスができるかどうか重要です。また一方では、環境アセスメントやモニタリングで収集したデータを破棄することなく、地域の自然環境保全に生かされることが望まれます。

本特別集会では、生物系データベースに着目して、オープンデータソースの現状を把握し、環境アセスメントにおける有用性を高めるための方向性について議論します。

■日 時

2016 年 9 月 10 日 (土) 13:00~15:00

■場 所

中央大学後樂園キャンパス 5 号館 5334 教室

■進 行

- ・司会：傘木宏夫（本学会常務理事・NPO地域づくり工房）
浦郷昭子（本学会理事・有限会社レイヴン）
 - ・コメンテーター：鹿島茂（2016 年大会実行委員長・中央大学）
- 1) 趣旨説明【13:00~13:10】 傘木宏夫
 - 2) 話題提供【13:10~14:40】
 - 報告 1：環境アセスメント実務者からみた現状と課題（各 15 分）
 - (1) 「オープンデータを活用したBDPマップの構築の取り組みからみた課題」【13:10~13:25】
新井聖司（大日本コンサルタント株式会社・インフラ技術研究所）
 - (2) 「諸外国のEIAデータベースとインド森林開発申請データベース」【13:25~13:40】
浦郷昭子（有限会社レイヴン）
 - 報告 2：オープンデータソース化の取り組み（各 15 分）
 - (1) 地球規模生物多様性情報機構日本ノード（JBIF）について【13:40~13:55】
倉島治（東京大学総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系）
 - (2) 地球環境情報統融合プログラム（DIAS）について【13:55~14:10】
小池俊雄（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻）
 - (3) 環境アセスメント環境基礎情報データベースシステムについて【14:10~14:25】
會田義明（環境省総合環境政策局環境影響評価課）
 - (4) 環境関連データベースに対するアンケート調査の報告【14:25~14:40】
傘木宏夫（NPO地域づくり工房）
 - 3) 意見交換・まとめ【14:40~15:00】